



伊予市長
中村 佑

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えること心からお慶び申し上げます。また、日ごろは市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新生「伊予市」が発足してからは、や1年9か月が過ぎましたが、昨年も、組織機構の見直しやごみの減量を目指した家庭用可燃ごみの有料化など、行財政改革を積極的に推進し、地方分権の荒波を乗り越える体制づくりに励んでまいりました。この間、特に大きな混乱もなく市政運営を行えたことは、ひとえに市民の皆様のご理解とご協力によるものと改めて深く感謝申し上げます。

さて、今年も、昨年策定しました伊予市総合計画に基づき、本格的な施策を実行していく年となります。しかし、長

引く地域経済の停滞や三位一体改革の影響などから、本市の財政状況は依然厳しいものがあり、今後の中長期的な財政見通しでも、一層深刻になるものと予想されております。また、少子高齢化の急速な進展や市民ニーズの多様化、複雑化、高度化などにより、従来ごおりの行政サービスの水準を維持することは、非常に困難となっております。

このような困難な状況であればこそ、公正・公平をおねとして、誠実に責任ある行政運営に努めるとともに、市民の皆様への積極的な「参画」と相互に協力し合う「協働」により、知恵と力をお借りしながら、課題のひとつひとつを着実に解決し、新市の将来像である「ひと・まち・自然が出会う郷（くに）」の実現に向けて一層努力していきたいと考えております。共にがんばってまいります。

最後に、市民の皆様へ改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。平成19年が、皆様にとりまして幸多い年になることを祈念いたしまして、新年にあたってのごあいさついたします。

新年明けまして おめでとうございます

(大谷池からの朝日)



伊予市議会議長
竹本 清

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えること心からお喜び申し上げます。

さて、新伊予市が誕生して早くも2年目の正月を迎えましたが、この合併を新たな地域の創造のきっかけと捉え、市民・行政・議会が自らの力で地域をつくるという一体感の醸成を図り、新しい時代にふさわしいまちづくりを目指し、各種の施策に取り組んでいるところでございます。

しかしながら、国の三位一体改革をはじめ地方分権の進展などにより、伊予市を取り巻く状況も大きく変化している中、今後の伊予市の総合的なまちづくりの理念や将来像を示す「伊予市基本構想」に基づき、市民の要請に応じてその行政機能を適切に果たしていくためには、組織機構改革や徹底した行財政改革などに

取り組み、市民本位の計画的な施策の展開を図っていく必要があると思っております。

そのためには、議会による行政子エック機能、また、議員自らの政策形成能力の充実強化と、議会の一層の活性化を図り「開かれた議会づくり」に向け積極的な改善に努めるとともに、行政施策の最終決定機関にあたる議会の機能や役割の重要性を踏まえ、理想的な二元代表制の実現に向けて改善・改革に取り組む所存でございます。

どうか今後とも、伊予市発展のため一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方にとって幸せの多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。